

アイソレーションアンプ 20 シリーズ		
取扱説明書	小型、高精度ローコスト、DIPタイプ アイソレーションアンプ	形式
		20VS9-122D

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

・本体.....1台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

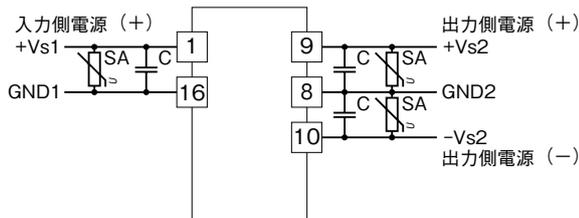
本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

## ご注意事項

### ●供給電源

・許容電圧範囲、消費電流  
定格電圧±15V DC、約7.5mA（無負荷時）

電源ライン入力側+15V、出力側+15V、-15Vに過大な電圧が加わる場合、下図のようなサージアブソーバーを取り付けて下さい。



例) SA : SM15T36CA ST マイクロエレクトロニクス製  
C : 50V 1  $\mu$ F

### ●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が-25 ~ +85°Cを超えるような場所、周囲湿度が30 ~ 90% RHを超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

### ●取付について

・プリント基板に取付ける場合は、ランド径 $\phi$  1.2、スルホール $\phi$  0.8の穴を推奨します。

### ●その他

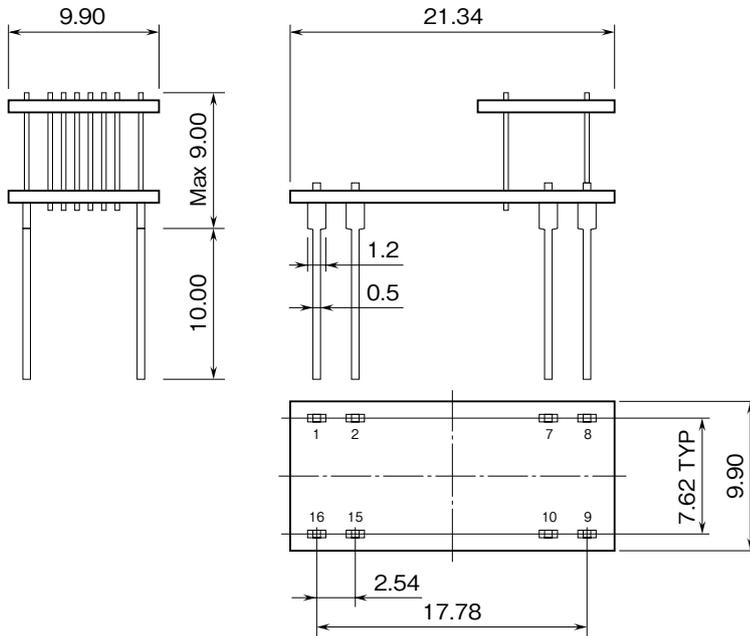
- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには10分の通電が必要です。
- ・出力端子間を長時間短絡することは避けて下さい。破損することはありませんが、発熱によって寿命を縮める恐れがあります。

## 点検

- ①端子接続図に従って結線がされていますか。
- ②供給電源の電圧は正常ですか。
- ③入力信号は正常ですか。  
入力値が0 ~ 100%の範囲内であれば正常です。
- ④出力信号は正常ですか。  
負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

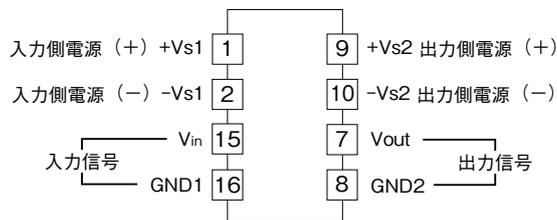
# 接 続

外形寸法図 (単位: mm) ・ 端子番号図



ピン配列	
1	入力側電源 (+) +Vs1
2	入力側電源 (-) -Vs1
15	入力端子 (+) Vin
16	GND1
7	出力信号 (+) Vout
8	GND2
9	出力側電源 (+) +Vs2
10	出力側電源 (-) -Vs2

端子接続図

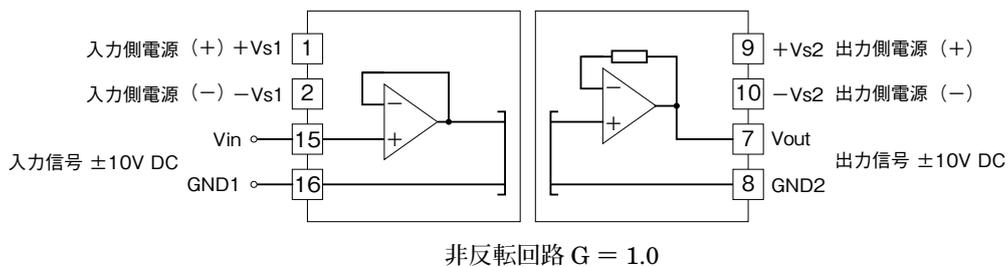


## 回路事例

本器の初段には、高精度のオペアンプが内蔵されています。

入力信号 ± 10 V DC が出力信号 ± 10 V DC として出力されます。  
ゲインは 1.0 となります。

### ■非反転増幅回路：非反転増幅回路の基本回路例 G = 1.0



---

## 保 守

定期校正時は下記の要領で行って下さい。

### ■校 正

10分以上通電した後、入力信号を0、25、50、75、100%順で本器に与えます。このとき出力信号がそれぞれ0、25、50、75、100%であり、規定の精度定格範囲内であることを確認して下さい。

---

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。